



モータースポーツマルチフィールド「沖縄完成」

市倉敷に整備された「モータースポーツマルチフィールド沖縄」の落成記念式典が、4月26日に開催され、昨年F4レースのシリーズチャンピオンとなった平良響選手等多くの関係者が参加しました。

式典では、県内競技者が鮮やかなデモ走行を披露し、会場に花を添えました。

桑江市長等によるテープカットの後には、沖縄県警察交通機動隊によるデモンストレーションが行われ、参列者からは歓声と拍手が起きました。

本市は、行政としては唯一、日本自動車連盟(JAF)の加盟団体となり、4月29日から供用開始となったモータースポーツマルチフィールド沖縄は、JAFの基準を満たし、JAFコース公認を取得しています。

フィールド面積8666平方メートルを有するモータースポーツ振興の施設として、モータースポーツでの利用だけでなく、警察白バイ隊の訓練、交通安全の普及・啓発、地域のイベント等さまざまな活用が期待されています。



5/1 沖縄でつなぐ希望の火

「Hope Lights Our Way/希望の道をつなごう。」をコンセプトにした東京2020オリンピック聖火リレーが、無観客で開催され、名護市民会館周辺を98人のランナーが快走しました。

各方面から選考された沖縄市内を走る予定だった16人のランナーは、約100mの距離をそれぞれの思いを胸に走り抜け、聖火をつなぎました。

リレー後には、セレブレーションが開催され、最終ランナーによる聖火皿への点火などが行われました。



4/15 店舗の感染症防止対策を確認

飲食店における感染防止対策の順守の徹底を図るため、県及び市の職員が市内各地の飲食店の見回りを実施しました。

市中央にある店舗を訪れた桑江市長等は、アクリル板の設置やマスクの着用など、国の示す感染対策4項目の確認を行い、引き続き感染予防対策を徹底するよう呼びかけました。

桑江市長は「感染症対策の徹底とワクチン接種の取り組みにより、感染症を抑えていきたい。大変な時期だが、飲食店や市民の皆様には、引き続き協力をお願いしたい」と話しました。



4/17～5/28 お家で外食気分を満喫

新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けている飲食店を盛り上げるため、沖縄市役所庁舎前広場で「コザ惣菜市～夕食応援団～」を開催しました。

居酒屋やパラーなど市内の飲食店が、キッチンカーや屋台を出し、唐揚げやスペアリブ、焼き魚、タコスなど、お店自慢のできたての惣菜や甘いデザートを販売しました。

惣菜市には、近所の家族連れや学生、仕事帰りの人等が訪れ、大盛況を収めました。



4/27 安全で効率的なワクチン接種のため

新型コロナウイルスワクチン集団接種の本番に向けた運営体制を確立するため、医師3人、看護師7人、市職員約70人が参加し、ワクチン集団接種シミュレーションを沖縄市武道館にて実施しました。

検温後の受付から2回目接種予約までの一連の流れや、システムの操作の確認等を行いました。

桑江市長は「本番がスムーズに行われるように、課題を一つずつ解決していきましょう」と呼びかけました。



4/19 沖縄市子ども発達支援センター開所

市知花在の「沖縄市かりゆし交流センター(つくし園)」を改装し、機能を拡充させた児童発達支援センター「沖縄市子ども発達支援センター」の開所式が行われました。

「児童発達支援」に加え、新たに発達相談等を行う「相談支援」、集団生活への適応のための支援等を行う「保育所等訪問支援」が加わった地域の中核的な療育支援施設です。

お気軽にお問い合わせください。

沖縄市子ども発達支援センター:TEL.098-934-1283



4/17～18 高校生演歌歌手、初コンサート

沖縄県立美里高等学校2年生の石原まさし(本名:石原昌徳)さんの全国デビュー曲発表記念コンサートが、うるま市民芸術劇場響ホールで行われ、観客の手拍子に乗せ、デビューシングル「田原城山 草枕」やカップリング曲の「希望(ゆめ)は叶う」、アコーディオン等を披露し、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

石原さんは、昨年3月10日にエスプロレコーズから全国デビューを果たしています。



4/19 平和への祈りを次世代へ繋ぐ者

令和3年度沖縄市平和大使の認定式が、市役所で行われ、市内の各中学校から推薦された中学生2年生17人と社会人大使1人に、桑江市長から認定状が交付されました。

平和大使は今後、沖縄の歴史や戦争に関する講義の受講や県内の戦跡めぐり、広島平和記念式典への参加などを通し、戦争の悲惨さや生命の尊さを学びます。

市では、沖縄戦の悲惨な体験や教訓を次の世代へ伝えていくこと等を目的に、平成3年度より平和大使研修を行っています。



4/13 行政相談委員へ感謝状を贈呈

本市の行政相談員として尽力され、3月末に退任された島袋さと子氏と島田セツ子氏への感謝状贈呈式が、市役所で行われました。

島袋氏は「6年間、相談委員を務めることができ感謝している。退任するが、今後とも地域の皆さまに協力していきたい」とあいさつしました。

與那嶺副市長は「様々な相談を幅広く受け、課題解決に尽力されたことに深く感謝を申し上げます」とお礼を述べました。



4/28 大空を泳ぐこいのぼりに願いを込めて

こども達の健やかな成長を願うと共に、沖縄こどもの国に愛着や関心をもってもらうこと等を目的に、沖縄こどもの国手作りこいのぼり掲揚式が行われ、「こどもの国こいのぼり大賞」を受賞した山内保育所の園児等が、自分達で作成したこいのぼりを掲揚しました。

沖縄こどもの国には、県内各地の保育園等30団体の園児等が作成した90匹のこいのぼりを合わせた約400匹のこいのぼりが、掲揚されました。



4/8 新1年生へ地域からの優しい贈り物

島袋小学校の新1年生全員に、アロハイサイ沖縄から久保田地域のあんぜんマップ下敷きと久保田青年会から締め太鼓のキーホルダーが贈呈されました。

あんぜんマップ下敷きには、久保田地域の交通量の多い道やハブの出発箇所、こども110番の場所等が記されています。

アロハイサイ沖縄代表の仲本 大樹(たいき)氏は「こども達に楽しく安全に学校生活を送ってほしいという気持ちを込め、実際に地域を歩いて下敷きを作成した」と話しました。



～寄付・寄贈等～ 皆さまのご厚意に感謝申し上げます。寄付金等贈呈式を行った皆さまをご紹介します。皆さまからいただいた寄付金等は、有効活用いたします。

4/20



株式会社 沖舗 (代表取締役 蔵ノ下 敏)
車椅子 5台 絵本 69冊

4/26



一般社団法人 沖縄青年会議所 (理事長 町田 裕介)
沖縄市認可外保育施設へ ループタオル 1,526枚